



# ADRC Highlights

Vol.81

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

November 1, 2003

## ➤ ADRCホームページがサーバー増強により一層パワーアップ

アジア防災センター（<http://www.adrc.or.jp>）では防災情報共有手段の一つとして、ウェブ上で「最新災害情報」、「メンバー国及びアドバイザー国の防災情報」、「防災トレーニング情報」、「防災人材情報ネットワーク」、「防災関係会議・学会等案内」、「防災技術・機器展示場」、「多国語防災関連用語集」、「阪神淡路大震災情報」、「ニュースレター」、「防災関連文献情報」、「メンバー国レポート」、「災害情報センター情報」と12項目にわたる防災情報を提供、また防災インターネットGIS「VENTEN」を公開しています。

近年、ADRCの知名度が上がり、コンテンツの充実も伴って、ウェブアクセス数も増加しています。月による変動はありますが、全体的に見て、総リクエスト数、1日平均訪問者数ともに増加傾向にあります。たとえば、2002年3月に230人程だった1日平均訪問者数は2003年6月には420人に増加しました。また、今年5月のアルジェリア地震など大規模な災害が発生した時には1日に4万人以上のアクセスがあります。

インターネットの検索エンジン Google によると、「アジア防災センター」による検索結果は約1,800件、「Asian Disaster Reduction Center」による検索結果は約38,900件とあり、ADRC開設から5年が経過して、

当センターが防災情報サイトとして広く認知されてきたことがわかります。この10月にサーバーが増強されアクセス速度も向上しました。今後一層のコンテンツの充実と使いやすいユーザーインターフェイスの提供に努めていく予定です。詳しくは、荒木田主任研究員（[arakida@adrc.or.jp](mailto:arakida@adrc.or.jp)）または児玉研究員（[kodama@adrc.or.jp](mailto:kodama@adrc.or.jp)）までお問合せください。



## ➤ 熊本県水俣市での土砂災害発生現場を調査

今年7月19日夜半から20日未明にかけて九州地方を襲った豪雨により発生した熊本県水俣市の土石流災害の状況把握のため、9月10日～9月11日の間、

現地調査を実施、熊本地方気象台、水俣市役所および15名の犠牲者が出た宝川内(ほうがわち)集(あつまり)地区を訪問しました。また、熊本県庁主催の宝川内地区復旧計画説明会にも参加しました。

今回の土石流災害では、行政側による情報伝達の問題が指摘されているため、調査は災害発生以前からの情報のフローとその内容に焦点をあてて行われた。調査後に判明したのは、今回の災害においては短時間に局地的な豪雨があったため、災害の予測が非常に難しかったことでした。

水俣地域では、これまで豪雨による災害が少なかったことから、今回のような土砂災害を想定していなかったとの話もありました。また、被災地では、今回の災害規模があまりにも大きいため、一刻も早く行政側の協力を得て復旧したい様子が伺えました。本件に関するお問合せは、吉村主任研究員（[yoshimura@adrc.or.jp](mailto:yoshimura@adrc.or.jp)）または栗田主任研究員（[kurita@adrc.or.jp](mailto:kurita@adrc.or.jp)）までお願いします。



## ➤ ADRCがJICA「中央アジア・コーカサス地域特設防災行政研修」のための調査ミッションに参加

2003年9月9日から20日の間、当センター角崎主任研究員がJICAの依頼を受けて、カザフスタン共和国、キルギス共和国、アゼルバイジャン共和国の3ヶ国において、標記のミッションに参加しました。内容は3ヶ国それぞれの(1)

- 各国の災害状況（地震、洪水、地滑等）に関する調査、
- 防災行政に関する状況調査、
- 防災における国際協力体制の確立、
- 防災分野における人材育成の計画、
- JICAロシア語

研修実施に対する要望の確認を行うものでした。現地の政府関係機関の積極的な参画により、来年神戸で新たに開設されるJICA「中央アジア・コーカサス地域特設防災行政研修」に向け、多くの調査成果が得られました。詳細は、角崎主任研究員（[tsunozaki@adrc.or.jp](mailto:tsunozaki@adrc.or.jp)）までお願いします。

